

幼保小の架け橋プログラムだより

このお便りは、横浜市の「架け橋プログラム」の一環として発行しています。架け橋期の保育・教育の充実のために、みなさんの取組に生かしてください。

令和6年度 幼保小教育連携研修会(分科会)のお知らせ

「探究心を発揮する子ども」へ～子どもの姿と大人の援助を語り合おう～

6月7日(金)に全体会として平野朝久先生による講演会を実施し、7月25日(木)・26日(金)には上大岡のウイリング横浜で分科会を実施します。

各分科会の申し込みは始まっています。分科会によっては、園の枠がすでに定員に達しているところも！小学校の枠には余裕がありますので、お早目にぜひお申し込みください。

7月25日(木)13:30~16:30

★第1分科会「健康部会」

★第2分科会「人間関係部会」

7月26日(金)9:30~12:30

★第3分科会「環境部会」

★第4分科会「言葉部会」

13:30~16:30

★第5分科会「表現部会」

★第6分科会「特別支援教育部会」

会場:ウイリング横浜

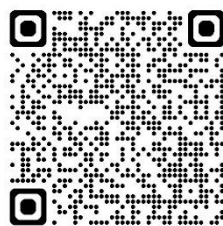
(上大岡オフィスタワー12F)



昨年度の提案より

★申し込みはこちらのチラシをご確認ください★

https://www.city.yokohama.lg.jp/kosodate-kyoiku/hoiku-yoji/renkei/2018031509482_0.files/0330_20240515.pdf



各分科会で

○幼稚園からの実践提案

○保育園からの実践提案

○小学校からの実践提案

が行われます。それらを受けて、子どもの姿を基にしてグループディスカッションを行い、助言者からの講評を伺います。

今年は小学校の先生の参加が増えるといいな!



横浜の幼保小連携の取組は、全国にあまり類がないほど歴史が深いのを、みなさんご存じですか？実はこの教育連携研修は、昭和59年度(今からなんと40年前！)に幼保小の中堅教員研修として2日間実施されたのが事業のスタートだったのです。

今、架け橋プログラムの実施を通して、幼児教育から小学校教育へと子どもの学びをつなげていこうとする取組が全国で展開されつつありますが、横浜はまさにその先駆けだったといえますね。

